ドライブ
ユーザ ガイド

製品についての注意事項

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピュータでは使用できない場合があります。

目次

1　取り付けられているドライブの確認

コンピュータに取り付けられているドライブを表示するには、**[スタート]**→**[コンピュータ]**の順に選択します。

セカンダリ ハードドライブ（ドライブ D）が装備されているモデルの場合、オプティカル ドライブはドライブ E になります。システムに新しい USB ドライブなどを追加すると、次に使用可能なドライブ文字が割り当てられます。

注記：　コンピュータのセキュリティを強化するため、Windows®には、ユーザ アカウントの制御機能が含まれています。アプリケーションのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行う時に、ユーザのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、Windows のヘルプを参照してください。

2　ドライブの取り扱い

ドライブは壊れやすいコンピュータ部品ですので、取り扱いには注意が必要です。ドライブの取り扱いについては、以下の注意事項を参照してください。必要に応じて、追加の注意事項および関連手順を示します。

△ **注意：**　コンピュータやドライブの損傷、または情報の消失を防ぐため、以下の点に注意してください。

コンピュータや別売のハードドライブをある場所から別の場所へ移動させるような場合は、必ず事前にスリープを開始して画面表示が消えるまでお待ちください。

ドライブを取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電してください。

リムーバブル ドライブまたはコンピュータのコネクタ ピンに触れないでください。

ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落としたり上に物を置いたりしないでください。

ハードドライブの着脱を行う前に、コンピュータの電源を切ります。コンピュータの電源が切れているのか、スリープ状態か、またはハイバネーション状態なのかわからない場合は、まずコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ドライブをドライブ ベイに挿入するときは、無理な力を加えないでください。

オプティカル ドライブ内のディスクへの書き込みが行われているときは、キーボードから入力したり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすいためです。

バッテリのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前に、バッテリが十分に充電されていることを確認してください。

高温または多湿の場所にドライブを放置しないでください。

ドライブに洗剤などの液体を垂らさないでください。また、ドライブに直接、液体クリーナーなどを吹きかけないでください。

ドライブ ベイからのドライブの取り外し、ドライブの持ち運び、郵送、保管などを行う前に、ドライブからメディアを取り出してください。

ドライブを郵送するときは、発泡ビニール シートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ—取り扱い注意」と明記してください。

ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をチェックするベルト コンベアなどのセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使ってチェックを行うので、ドライブには影響しません。

3 オプティカル ドライブの使用

DVD-ROM ドライブなどのオプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD および DVD）に対応しています。これらのディスクでは、情報を保存または転送したり、音楽や映画を再生したりします。DVD の方が、CD より大きい容量を扱うことができます。

以下の表に示すように、すべてのオプティカル ドライブでオプティカル メディアからの読み取りが可能で、モデルによっては書き込みも可能です。

オプティカル ドライブの種類	CD および DVD-ROM メディアの読み取り	CD-RW メディアへの書き込み	DVD ±RW/R メディアへの書き込み	DVD+R DL メディアへの書き込み	LightScribe CD または DVD±RW/R へのラベルの書き込み	DVD-RAM メディアへの書き込み	ブルーレイ DVD-ROM メディアの読み取り	HD DVD メディアへの書き込み
DVD-ROM ドライブ	可	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可
2 層記録対応スーパーマルチ DVD ±R/RW 搭載 HD DVD-R	可	可	可	可	不可	可	不可	可
2 層記録対応スーパーマルチ DVD ±R/RW 搭載 HD DVD-ROM	可	可	可	可	不可	可	不可	不可
DVD±RW/CD-RW マルチ ドライブ	可	可	可	不可	不可	不可	不可	不可
スーパー マルチ ドライブ	可	可	可	可	不可	可	不可	不可
2 層記録対応の LightScribe DVD±RW/R および CD-RW コンボ ドライブ	可	可	可	可	可	可	不可	不可

オプティカル ドライブの種類	CD および DVD-ROM メディアの読み取り	CD-RW メディアへの書き込み	DVD ±RW/R メディアへの書き込み	DVD+R DL メディアへの書き込み	LightScribe CD または DVD±RW/R へのラベルの書き込み	DVD-RAM メディアへの書き込み	ブルーレイ DVD-ROM メディアの読み取り	HD DVD メディアへの書き込み
2 層記録対応スーパーマルチ DVD ±R/RW 搭載ブルーレイ ディスク ROM	可	可	可	可	不可	可	可	不可

注記： ここに示すオプティカル ドライブによっては、お使いのコンピュータでサポートされていない場合もあります。サポートされているオプティカル ドライブすべてが上記の一覧に記載されているわけではありません。

△ **注意：** オーディオやビデオの劣化や情報の損失、またはオーディオやビデオの再生機能の損失を防ぐため、CD や DVD の読み取りまたは書き込みをしているときにスリープまたはハイバネーションを開始しないでください。

情報の損失を防ぐため、CD や DVD への書き込み時にスリープまたはハイバネーションを開始しないでください。

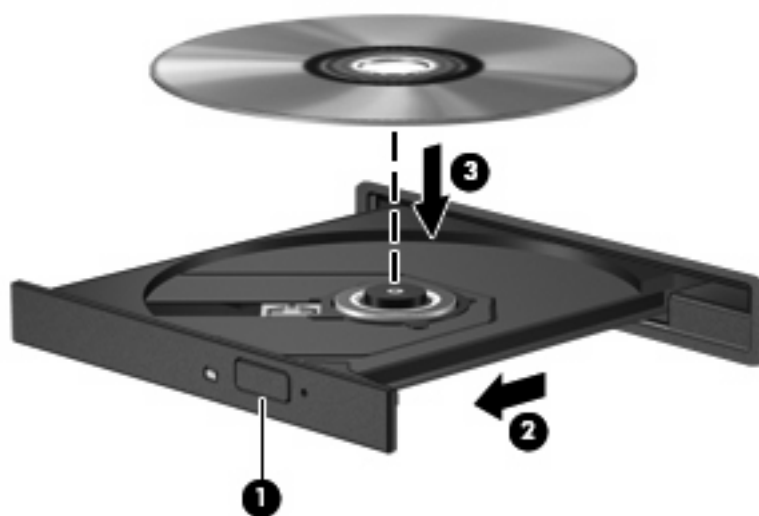
ディスクの再生中にスリープまたはハイバネーションを開始した場合、以下のことが発生します。

- 再生が中断する場合があります。
- 続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。
- CD または DVD を再起動し、オーディオまたはビデオの再生を再開しなければならない場合があります。

オプティカル ディスクの挿入

1. コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押してメディア トレイを開きます。
3. トレイを引き出します（**2**）。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸上に置きます。

注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて回転軸の上に置いてください。

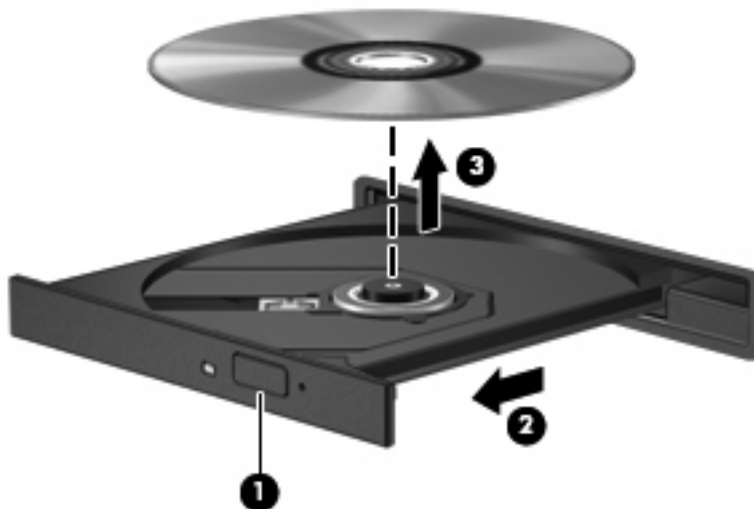
5. ディスクが確実にはまるまで、トレイの回転軸上にディスクをゆっくり押し下げます（**3**）。

6. メディア トレイを閉じます。

注記： ディスクの挿入後、プレーヤの起動まで少し時間がかかりますが、これは通常の動作です。初期設定のメディア プレーヤを選択していない場合は、[自動再生]ダイアログ ボックスが開き、メディア コンテンツの使用方法を選択するように要求されます。

バッテリ電源または外部電源使用時のオプティカル ディスクの取り出し

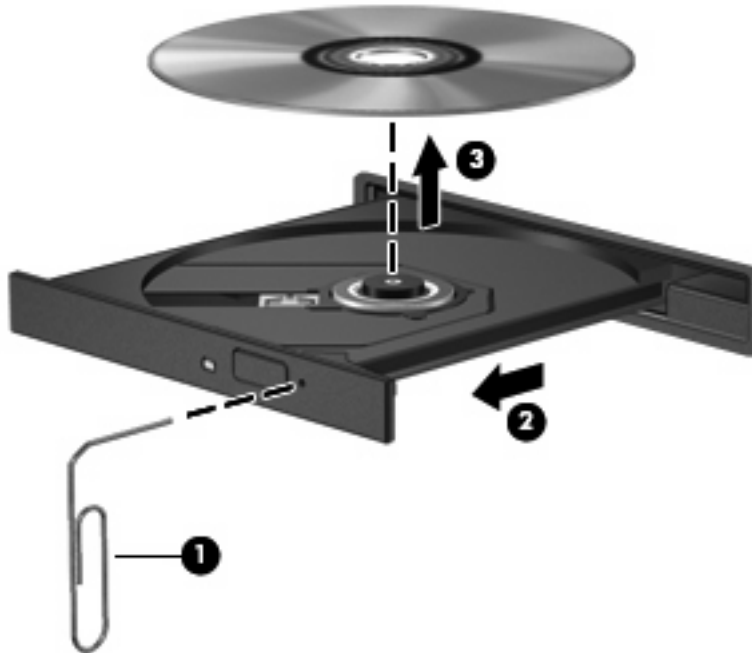
1. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押してメディア トレイを開き、トレイをゆっくり完全に引き出します（**2**）。

2. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。

3. メディア トレイを閉じて、ディスクを保護ケースに入れます。

電源切断時のオプティカル ディスクの取り出し

1. ドライブのフロント パネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ（**1**）の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、トレイが開いたら、トレイを完全に引き出します（**2**）。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

   注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出します。

4. メディア トレイを閉じて、ディスクを保護ケースに入れます。

4 ハードドライブ パフォーマンスの向上

ディスク デフラグの使用

コンピュータを使用しているうちに、ハードドライブ上のファイルが断片化されてきます。ディスク デフラグを行うと、ハードドライブ上の断片化したファイルやフォルダを集めて効率的に実行できるようになります。

ディスク デフラグを実行するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク デフラグ ツール]**の順に選択します。
2. **[今すぐ最適化]**をクリックします。

注記： コンピュータのセキュリティを強化するため、Windows には、ユーザ アカウントの制御機能が含まれています。アプリケーションのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行う時に、ユーザのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、Windows のヘルプを参照してください。

詳しくは、ディスク デフラグのヘルプを参照してください。

ディスク クリーンアップの使用

ディスク クリーンアップを行うと、ハードドライブ上の不要なファイルが検出され、それらのファイルが安全に削除されてディスクの空き領域が増し、コンピュータの実行効率が高くなります。

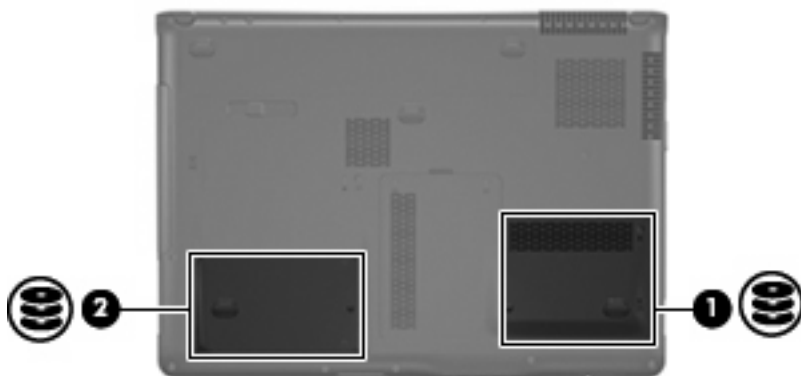
ディスク クリーンアップを実行するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク クリーンアップ]**の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

5 ハードドライブの交換

注記： お使いのコンピュータの外観は、図と多少異なる場合があります。

メイン ハードドライブ ベイ（**1**）とセカンダリ ハードドライブ ベイ（**2**）（一部のモデルのみ）を以下の図に示します。

注記： メイン ハードドライブ ベイには、数字の 1 が表示されています。お買い上げいただいたコンピュータがセカンダリ ハードドライブ ベイ搭載モデルの場合は、セカンダリ ハードドライブ コンパートメントの内側に数字の 2 が表示されています。セカンダリ ハードドライブ ベイにドライブが収納されているかどうかは、ハードウェアの構成によって異なります。

注意： データの消失やシステムの応答停止を防ぐには、以下の注意を守ってください。

ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピュータをシャットダウンしてください。コンピュータの電源が入っている状態、スリープ状態、またはハイバネーションのときにはハードドライブを取り外さないでください。

コンピュータの電源が切れているのか、スリープ状態か、またはハイバネーション状態なのかわからない場合は、まずコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ハードドライブを取り外すには、以下の手順で操作します。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピュータをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。

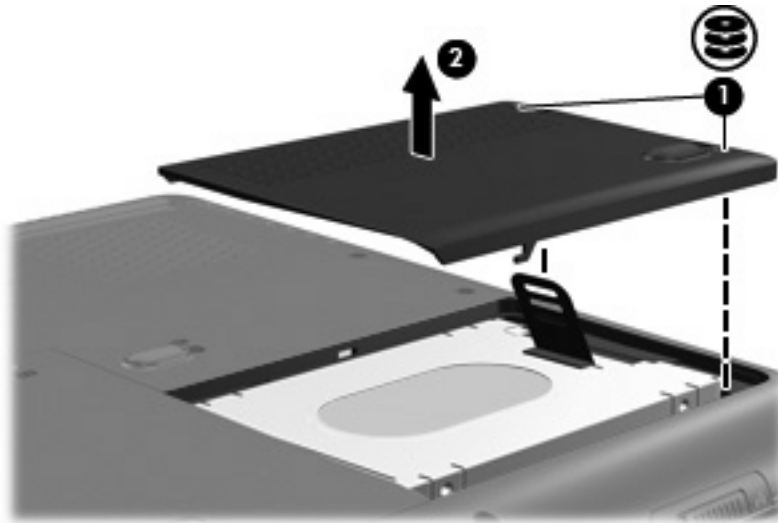
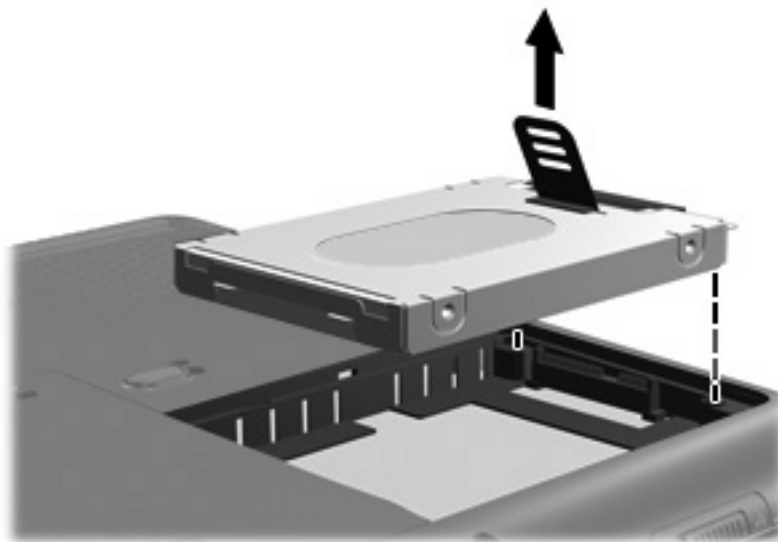
   コンピュータの電源が切れているかハイバネーション状態なのか分からない場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
3. コンピュータに接続されているすべての外付けデバイスの接続を外します。

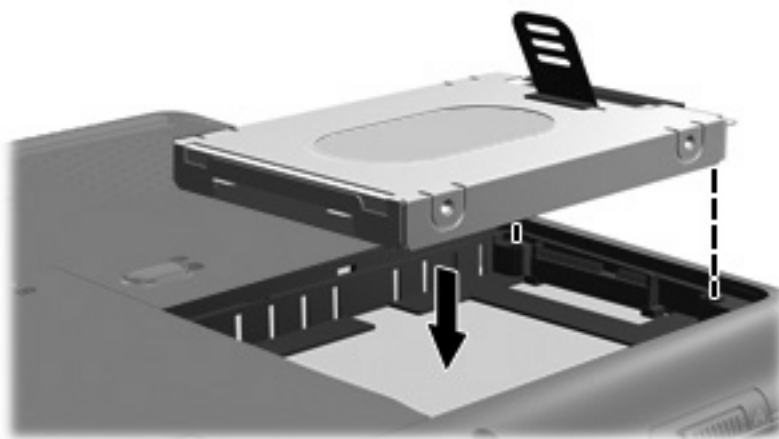
4. 電源コンセントおよびコンピュータから電源コードを抜きます。

5. コンピュータを裏返して安定した平らな場所に置きます。

6. コンピュータからバッテリ パックを取り外します。

7. ハードドライブ ベイを手前に向けた状態で、ハードドライブ カバーの 2 つのネジ（**1**）を緩めます。

8. ハードドライブ カバーを持ち上げて、コンピュータから取り外します（**2**）。

9. ハードドライブ タブを引き上げ、ハードドライブをコンピュータから取り出します。

ハードドライブを装着するには、以下の手順で操作します。

1. ハードドライブをハードドライブ ベイに挿入し、カチッという音がして所定の位置に固定されるまでゆっくり押し下げます。

2. ハードドライブ カバーのタブ（**1**）を、コンピュータのくぼみに合わせます。
3. カバーを閉じます（**2**）。
4. ハードドライブ カバーのネジ（**3**）を締めます。

索引